

大学名 熊本大学

第65号 特集テーマ「気候変動対策  
—地球とわれわれの未来のために—」

表題 再生可能エネルギーでCO2削減！EVバスの社会実装研究

日産自動車(株)で電気自動車の開発に携わった経歴をもつ熊本大学大学院先端科学研究部の松田俊郎シニア准教授は、量産車のEV(電気自動車)技術を活用した低価格EVバスの開発を進め、2016年度以降、環境省の大型委託事業2件を受託して、熊本市と横浜市で実証試験を行いEV路線バスの有効性を明らかにしました。



**Toshiro MATSUDA**  
大学院先端科学研究部  
松田俊郎 シニア准教授

また、2022年に新たな環境省の事業を受託し、熊本県球磨村での電動スクールバス実証事業を開始しています。この実証事業は、過疎化や学校の統廃合により通学に欠かせない交通手段であるスクールバスの電力を再生可能エネルギーでまかなうだけでなく、充電した電力の一部を地域の施設で利用したり、移動可能な非常用電源としてバスに貯蔵したり、エネルギーの地産地消に貢献することも想定されています。

2020年7月に豪雨による洪水被害を受けた球磨村は、2021年3月に策定した復興計画において「地域コミュニティの再生と脱炭素のむらづくり」を掲げ、2022年4月に環境省の脱炭素先行地域に選定されています。本事業が、球磨村の創造的復興に貢献し、中山間地域での脱炭素社会構築のモデルとして全国に普及することを目指しています。

球磨村電動スクールバス実証事業の詳細

<https://www.kumamoto-u.ac.jp/whatsnew/sizen/20220221>



## EV 路線バス



ディーゼルエンジンで走る路線バスをEVバスに改造し、クリーンな公共交通を実現します。



+



## 電動 スクールバス



スクールバスを電動化し、再生可能エネルギーと連系して地域のCO2削減や非常電源に使用します。

